

琉球大学学術リポジトリ

調査回答書：ヤップ支廳長

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38055

矢内原忠雄文庫

史料名	ヤップ支廳長 高木勇松による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
封筒番号	51
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成18年 5月 30日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：51

史料名	ヤップ支廳長 高木勇松による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
資料形態	南洋廳野紙
枚数	4
页数	4
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原質問書を用いず 今泉分類記号：N

南洋群島々民教育ニ関スル質問書

ヤブア支廳長
高木勇松

模造牛紙判全葉郵紙

一、児童ノ徳性ヲ涵養シ道德ノ實踐ヲ指導スルヲ以テ要旨トス

二、公學校修身科教授要目中本科第三學年ニ於テ天皇陛下ニ付又補習科第一學年ニ於テ國旗ニ付夫々教授ヲ施シ我カ國作觀念ノ養成ニ努カメシム

三、學校生活中ニ左記風習ノ改善ニ努カム

- 一、着衣ノ風習
 - 一、階級的差別待遇ノ惡習
- 一、規律的生活
 - 一、衛生思想
- 一、性的陋習

(特ニ女子月經時ニ於ケル陋習ノ打破例ハハ初經ニハ六ヶ月モ山間陋習ニ別居スル如キ風習)

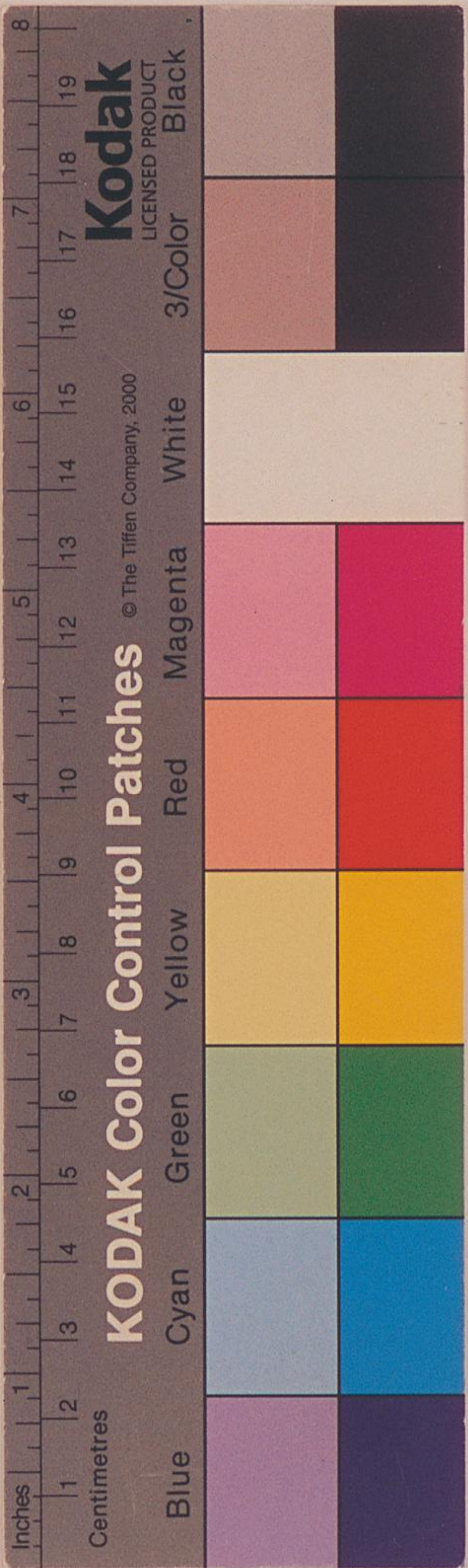
南洋廳

一、共同精心

二、原則トシテハ用ヒサルモ初學年ニ於テハ島民助教員ヲシテ通譯セシメ教授スルヲ便宜トシ實行シツベキアリ

三、各島共土語ヲ異ニスルヲ以テ現ニ他島(例ハハラオ諸島、ホノハ諸島、トラツク諸島等)管外諸島)へ出張或ハ旅行スル島民ハ行先ニテノ用務ニ邦語ヲ使用シテ利便ヲ受ケツ、アルヲ以テ今後國語ハ共通語トシテ場々島民間ニ普及スルモノト認ム

三、現行ノ公學校本科國語教授ハ各學年共毎週十二時間ノ時數ヲ課シ國語ニ主力ヲ注ク方針ニ



1/10

ア、凡そ實際教授ノ結果、未タ日用ヲ便スルニ充
分ナラス殊ニ會話ニ於テ甚シキヲ認ム

三、
百萬人迄教へ得

又、
教授ス

四、
圖画、手工、唱歌等

五、
食ハ天然物ノ惠共ヲ受ケ簡單ナル掘建小屋
ニ住居シ衣ヲ取ラサル島民ノ日常生活ハ彼
等ニ何等ノ向上ノ刺戟ヲ與ヘサル為ニ苦心
ナク自ラ智識ヲ求メ生活ヲ改善セントスル者ヲ
認メス

六、
教育ノ徹底的普及ニ依リテ將來彼等ノ生活ヲ

南洋廳

複雑化シ文法的な生活ノ録求ヲ誘導セハ知能
向上ノ見込アリ

七、
主トシテ教授ノ際通譯ノ仕事ヲ擔任ス

八、
本科 最高 十七年四月
最低 八年十月 平均 十年八月
補習科 最高 十五年四月
最低 十二年十月 平均 十四年二月

九、
官ノ奨励ニ出ツ

十、
松岡静雄著「ヤップ語の研究」南洋社編纂アリ

島民教育ニ関スル質問(第二)

一、
西班牙、独逸時代ヨリカトリック教ノ宗教授学校
アリ我軍政時代ニハ島民小學校設置アリ

一、 學校ニ島民ノ習慣外ニアル特殊ノ處トシテ其
 行フ處ニ對シテハ敬意ヲ表シツ、アルモノ、如シ
 島民ニハ時計ヲ持ツ者少キ為遲刻ハ相當
 ニアルヲ免レサルモ缺席者少シハ缺席者ニ對シ
 テハ支那ト學校當局ト協力シテ督促ス
 二、 昭和六年度卒業者カ公學校本科三学年
 間ニ於テ最初ノ入學數一八八人ニ對シ一〇一人ノ退
 學者ヲ出シタリ入學ニ對スル率約八分強
 三、 邦人又ハ歐人ニ比シテ劣ル
 四、 女子ハ男子ニ比シテ劣ル
 五、 後順ヲ裝フモ概シテ懶隨ナリ後々邦人兒

南洋廳

六、 童ニ見ル如キ純ナル品行持ツ者少シ殊ニ女子ノ
 如キハ本科二年頃より處女ヲ失フ者多シ
 現在ノ本科用讀本カ漢字ヲ少クシ假名ヲ多
 クセントスル編纂系ニ付漢字ハ多ク知ラサレトモ
 片假名ナレハ普通オトギ語ノ如キ本ハ自由ニ讀
 ムヲ得、併シ解釋力ハ之レヲ伴ハサルカ如シ
 補習科ヲ出ラモ平假名ヲ讀ミ解釈スルハ困
 難ナリ
 七、 邦人家庭ノ家業ト成リ又ハ人夫トシテ雇ハレタリ
 スル際學校卒業生ハ主人ニ歡迎セラレ優遇
 ツ受クル者アルモ邦人少キ本島ノ如キハ其ノ年

業生ノ大部分部落ニ歸リ漸次邦語ヲ忘ル、
ノ傾向アリ右ノ如キ事情ナルヲ以テ其ノ生活
ニ於テハ非就學島民ト今日ノ處其ノ生活
様式ニ差異ヲ認メス

南洋廳

矢内原忠雄文庫

史料名	ヤップ支廳長 高木勇松による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
封筒番号	51
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 8 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：51

史料名	ヤップ支廳長 高木勇松による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」
資料形態	南洋廳野紙
枚数	4
頁数	4
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原質問書を用いず 今泉分類記号：N

②-9-10
43-11

南洋群島々民教育ニ関スル質問書

ヤッパ支廳長
高木勇松

模造中紙判全葉紙

一、児童ノ徳性ヲ涵養シ道德ノ實踐ヲ指導スルヲ以テ要旨トス

二、公學校修身科教授要目中本科第三學年ニ於テ天皇陛下ニ付又補習科第一學年ニ於テ國旗ニ付夫々教授ヲ施シ我々國作觀念ノ養成ニ努カメシム

三、學校生活中ニ左記風習ノ改善ニ努カム

- 一、着衣ノ風習
 - 一、階級的差別待遇ニ惡習
- 一、規律的生活
 - 一、衛生思想
- 一、性的陋習

(特ニ女子月經時ニ於ケル陋習ノ打破例ハ、初任ニハ六ヶ月間陋屋ニ別居スルヲ如キ風習)

南洋廳

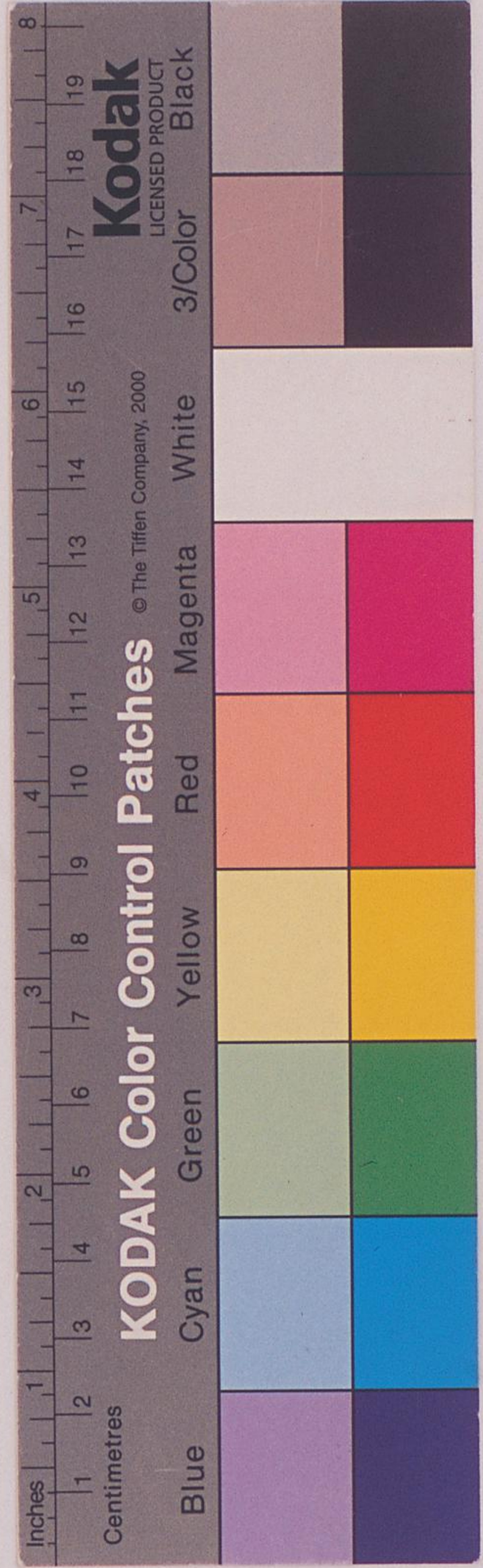
二、原則トシテハ用ヒサルモ初學年ニ於テハ島民助教員ヲシテ通譯セシメ教授スルヲ便宜トシ實行シツ、アリ

又、各島共土語ヲ異ニスルヲ以テ現ニ他島(例ハハラオ諸島、ホナ、諸島、トラツク諸島等管外諸島)へ出張或ハ旅行スル島民ハ行先ニテノ用務ニ邦語ヲ使用シテ利便ヲ受ケツ、アルヲ以テ今後國語ハ共通語トシテ増々島民間ニ普及スルモノト認ム

三、現行ノ公學校本科國語教授ハ各學年共毎週十二時間ノ時數ヲ課シ國語ニ主力ヲ注ク方針ニ



1/10



アルモ實際教授ノ結果、未タ日用ヲ便スルニ充
分ナラス殊ニ言語ニ於テ甚シキヲ認ム

三、
百萬迄數ハ得

二、
教授ス

四、
圖画、手工、唱歌等

五、
食ハ天然物ノ惠共ヲ受ケ簡單ナル掘建小屋
ニ住居シ衣ヲ取ラサル島民ノ日常生活ハ彼
等ニ何等ノ向上ノ刺戟ヲ與ハサル為名譽心
ナク自ラ智識ヲ求メ生活ヲ改善セントスル者ヲ
認メス

六、
教育ノ徹底的普及ニ依リテ將素彼等ノ生活ヲ

南洋廳

複雑化シ文明の生活ノ欲求ヲ誘導セハ知能
向上ノ見込アリ

七、
主トシテ教授ノ際通譯ノ仕事ヲ擔任ス

八、
本科 最高 十七年四月 最低 八年十月 平均 十年八月
補習科 最高 十五年 最低 十年十月 平均 十四年二月
官ノ獎勵ニ出ツ

九、
松岡靜雄著「ヤップ語」研究「南洋」編輯兼アリ

島民教育ニ関スル質問 (第二)

一、
西班牙、独逸時代ヨリカトリック教ノ宗教學校
アリ我軍政時代ニハ島民小學校設置アリ

一、学校ニ島民ノ習慣外ニアル特殊ノ要トシテ其ノ行フ要ニ対シテハ敬意ヲ表シツ、アルモノ、如シ

二、島民ニハ時計ヲ持ツ者少キ為遅刻ハ相当ニアルヲ免レサルモ缺席者少シ、缺席者ニ対シテハ支那ト学校当局ト協力シテ督促ス

三、昭和六年度卒業者カ公学校本科三学年ニ間ニ於テ最初ノ入学数一八人ニ対シ一〇人ノ退学者ヲ出シタリ入学ニ対スル率約八分強

四、邦人又ハ欧人ニ比シテ劣ル女子ハ男子ニ比シテ劣ル後順ヲ装フモ概シテ懶随ナリ後多ク邦人見

南洋廳

五、童ノ見立如キ純ナル品行持ツ者少シ殊ニ女子ノ如キハ本科二年頃より慶女ヲ失フ者多シ

六、現在ノ本科用讀本カ漢字ヲ少クシ假名ヲ多クセントスル編纂系ニ付漢字ハ多ク知ラサレトモ片假名ナレハ普通オトギ話ノ如キ本ハ自由ニ讀ムヲ得、併シ解釋力ハ之レヲ伴ハサルカ如シ

補習科ヲ出ラモ平假名ヲ讀ム解釋スルハ困難ナリ

七、邦人家庭ノ家徳ト成リ又ハ人夫トシテ雇ハレタリスル際學校卒業生ハ主人ニ歓迎セラレ優遇ヲ受クル者アルモ邦人少キ本島ノ如キハ其ノ年



業生ノ大部分部落ニ歸リ漸次邦語ヲ忘ル、
 ノ傾向アリ右ノ如キ事情ナルヲ以テ其ノ生活
 ニ於テハ非就學島民ト今日ノ所及其ノ生活
 様式ニ甚異ヲ認メス

模造牛紙判全葉紙

南洋廳